

## 日記風 夏休みの自由研究のヒント（まだ終わってない子は、やってみよう！！）

8月12日（金）

田舎で、夏休みを過ごしました。実は、実家が商売（焼肉屋）をしているので、例年、お盆のかき入れ時には、手伝いをするために帰省します。もう、親も年をとったので、いいかげん商売をやめればいいのと思うのですが、まだ、仕事をする欲はあるようです。

実は、7月の中旬に父がハシゴから落ちて鎖骨を骨折したので、今年は、仕込み準備が間に合わず、店は大忙しでした。父は、骨折箇所をピスで留め3週間で退院し、今はもう車の運転もしているし、重い物を持ち上げる以外のことは、何でもする状態になっています。

ところで、田舎では、誰かが入院するとお見舞いが大変です。急いで行かねばなりません。また、近い人は、お見舞いに5千円とか1万円とか包んでくるので、お返しをするのも大変です。田舎には、お見舞い「半返し」というルールがあって、父の場合、病院には十何万円が支払い、その倍くらいをお見舞い返しで使うことになりそうです。・・・田舎は、これがあるから大変・・・。田舎には、ケガや病気持ちのお年寄りがたくさんいて、入院費・お見舞い・お見舞い返しで動く経済があります。その金額たるや、農業粗生産額を超えるかも？

【やってみよう】 みんなの町の医療費と農業粗生産額を調べてみよう！

8月13日（土）

夜、従姉妹が、早場米の新米をもって来てくれました。実は、この従姉妹とは、30年くらい会っていなかったの、最初はおばさん（従姉妹の母親）かと思ってしまいました。

従姉妹も、既に退院した父にお見舞いをくれました。年寄りの骨折だからしばらく病院から出て来れないだろうと、みんな思います。息子でさえ、そう思いました。ところが、意外にも3週間で退院し、慌てた人もいたのです。従姉妹のところは大規模経営の花農家で、お盆前の出荷で焼肉屋以上に大忙しだったのでした。「年寄りの冷や水」は、今では差別用語らしいですが、父にはあえて言いました。「年寄りがハシゴなんて、ホンマ往生しまっせえ。」父は、「お見舞いの受付は終了しました。ちっちきちい〜。」の張り紙をすることにしました。

【やってみよう】 「お年よりはハシゴから落下注意」のポスターを描いてみよう！

8月14日（日）

従姉妹がくれた新米を炊いて食べました。やっぱり、新米は美味しいです。

実家に、おそらく50年以上使っている一升マスがあり、何気なくその寸法を測ってみました。大きさは、5寸×5寸の深さが2寸でした。つまり、一升マスとは、1寸の立方体50個分という、きりのよい大きさでした。寸法とは、長さではなく、寸のシステムという意味であることを発見しました。しかし、わが家のマスには秘密があり、1寸=3.3cmではなく、3cmになっていたのです。一升の容量が、1800ccではなく、1350cc（15cm×15cm×6cm）しかないわけです。なんと25%も不足です。昔は、米などの計り売りというのがあり、もしかすると、消費者は、ずいぶん損をしていたのかもしれない。

それにしても、わが家のインチキ一升マスで計った1升の米を電気炊飯器に入れ、10合の目盛りまで水を入れて炊いたら美味しく出来たというのは、いったいどういうことでしょうか？

【やってみよう】 近所の米屋さんで聞いてみよう。実は商売人は甘くないよ！